

◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程に依り左の通表彰、關係地方廳にそれぞれ傳達方を依頼した。

四月一日表彰

表彰狀、二等功績章、單杯

岐阜縣修路工夫

松本平四郎

同

同

永澤捨吉

同

同

會我金治

同

同

尾下乙吉

同

同

安藤監一

四月二十九日表彰

雜報

表彰狀、一等功績章、三ツ組木杯

鳥取縣道路工夫

井口勇吉

同

同

赤松文治

同

同

椋田萬藏

同

同

福田牧藏

同

同

前田兼治

同

同

平尾鶴吉

同

同

清水房吉

同

同

高松豊重

表彰狀、二等功績章、單杯

同

田中初次郎

同

同

村上周藏

同

同

田口豊吉

同

同

谷口武子治

同

同

小谷民治

同

同

土橋榮藏

同

同

溝口善市

同 同 今 井 良 策
同 同 武 石 久 吉

◎土木出張所長會議 支那事變處理を目的として編成せられた十五年度豫算も愈々成立するに至つたので、内務省では其の所管豫算中最も多額の金額であり、同時に最も多く物資の使用を伴ふ土木事業の執行に關し萬遺憾なきを期すべく、四月八日及び九日の兩日に互り土木出張所長會議を開催した。

當日大達内務次官から左の如き挨拶があつた。

次官挨拶

會議の始めに當りまして一言御挨拶を申述べたいと存じます。

土木事業が國民生活の安定と産業經濟の發展に密接至大の關係を有することは今更茲に申上ぐるまでもない處であります。

幸ひにして今日までの處各位の多年に亙る御盡力に依り、まして土木諸般の施設は着々と整備せられ、特に最近に於

ける我國産業界の劃期的躍進に當つては克く其の基礎的地盤として亦其の推進力として所期の目的を達成して参りましたことは洵に同慶の至りに存する處であります。

然しながら事變も愈々長期化し、國際間の關係亦極めて微妙なるものある今日、之等の情勢に對處して克く事變の處理を完ふし、日滿支一體の關係を確立強化して行くが爲には軍備の完成と相俟ち今後更に一段と生産力の擴充、國民生活の安定等に力を注ぎ國力の充實に努めなければならぬのでありまして、之に伴ひ土木諸施設に付ても亦緊急整備を要するものが少くないのであります。

從て政府と致しましては各種の經費益々多端なる折柄にも拘らず、特に其の重要性に鑑みまして一面に於ては其の既定經費の節約繰延を行ひながらも、他面よく緊要なる土木事業は新に相當之を實施することに致しました。

各位に於かれましても此の間の情勢を充分了承せられ、工事實施に當つては出來得る限り經費の節約に意を拂はるゝは勿論、直轄事業の重大性と其の影響する處に鑑み特に

技術の最善を盡さるゝと共に、地方土木當局との聯絡協調にも亦萬全を期せられ、以て事業目的の達成に付遺憾なき様努められんことを切望致します。

尙事變の長期化に伴ひ近時時局に對する民心の緊張漸く弛緩せんとする氣配があります。誠に戒愼を要することでありまして、各位に於かれましても充分この點に留意せられ、部下職員の指導監督に當つては常に其の言動に對し反省を加へしめられ、非常時局下に於ける官吏としての心構態度に付遺憾なきを期せしめられんことを切望する次第であります。

會議は成田土木局長座長の下に左記の如き順序で進められた。尤も會議と云ふても内輪同志の事として、別段鹿爪らしい窮屈なものではなく、懇談的に極めて自由に協議せられた。

土木出張所長事務打合せ會(五階 第一會議室)

四月八日 午前九時

一、十五年度豫算ニ關スル件

- 一、物資及勞力ノ需給ニ關スル件
- 一、河川敷地ノ占用ニ關スル件

- 一、河水統制調査ニ關スル件

- 一、道路ト國有鐵道トノ平面交叉除却ニ關スル兩省協定

ニ關スル件

同 九日 午前九時

其ノ他事項協議

豫算の問題に付ては本年一月の會同で一應の協議を遂げたのであつたから、別段珍らしい質疑もなかつたが、土木局長交代後の最初の打合せであり、且十六年度豫算要求の希望や其の箇所等に付ても各所長から意見の開陳があつたので、多大の收穫を納めた。

道路關係では、特に本年度以降三箇年に互つて創設せられた、「重要道路整備調査」の方法に付腹藏なき意見の交換があり、結局土木局に於て一定の調査方針を決定し、更めて土木出張所の相當者の會同を求め、其の著手に當つては土木出張所を中心として、府縣廳、市町村、商工會議所

自動車業組合、其の他道路運送に關係する方面の協力を得て實行することゝなつた。

四月九日午後から所長會議に引續いて事務官の會合を催し、左記事項に付協議を遂げた。

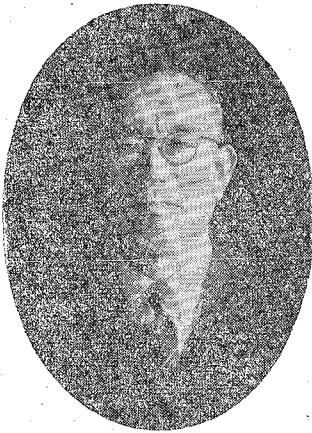
土木出張所事務官事務打合せ(一五、四、九)

- 一、昭和十四年度豫算繰越ニ關スル件
- 二、昭和十五年度支拂豫算増額要求調ニ關スル件
- 三、港灣改良費豫算流用ニ關スル件
- 四、物資ノ配給並ニ使用ニ關スル件
- 五、附帯工事ノ取扱狀況ニ關スル件
- 六、海運組合法ノ實施ニ關スル件
- 七、其ノ他必要ト認ムル事項

此の會同では土木工事の執行に付最も苦心して居る資材の入手就中セメント、鐵、油類等の配給及發註に付て各事務官から地方の實情を詳細報告し、本省側もまた取計ひの方針に付て忌憚なく説明する所があり、頗る有意義に始終した。(A生記)

◎道路課長田中省吾氏 福本内務書記官の後任内務書記官

記官田中省吾氏は土木局道路課長として四月十六日前任地名古屋より着任せられた。東京驛頭舊知人達に迎へられ、明朗瀟灑な長身をブラットホームに運ばせながらヤア、くを連發直に登着せられた。氏は岐阜縣養老郡上多度村



大字鷺巢に明治二

十九年一月三十一

日呱呱の聲を擧げ

大正五年三月縣立

師範學校本科第一

部卒業、同九年三

月東京高等師範學

校文科第一部卒業、同十年五月同校研究科卒業、同十二年

十一月高等試験行政科試験合格、同十三年三月京都帝國大

學法學部政治科卒業、同年五月六日內務屬(土木局勤務)、

翌十四年十月一日警視となり、長野縣警察部勤務を命ぜら

れ、昭和二年六月十日大阪府に轉任、昭和六年十二月二十

八、内務事務官となり、警保局勤務同十一年九月二十四日千葉縣書官記に轉任警察部長に補せらる。同十四年四月二十一日愛知縣書記官警察部長に轉し、本年四月十日内務書記官となり土木局道路課長を命ぜられた。

◎田中道路課長幹事委囑 幹事福本道路課長は警保局圖書課長に轉ぜられたるを以て後任幹事を水野會長より田中道路課長に委囑せられた。

◎内務省土木試驗所談話會

第二〇一回技術談話會話題

時日 昭和十五年四月十二日(金) 午後一時半—四時

場所 本郷區駒込富士前町二六 内務省土木試驗所講堂

一、天然凝結材に關する調査報告 (三〇分) 松本技手

二、河床の性質とその自然勾配との關係理論の導き方 (三〇分) 佐藤清一

(三〇分)

三、基礎方程式を級數に展開して解き變斷面長柱の限界荷重を求むる方法 (四〇分) 横田技師

四、工學的見地よりの中支從軍所感 (四〇分) 藤森謙一

以上

◎古河虎之助男逝去 本會評議員古河合名會社々長男

爵古河虎之助氏は、三月三十日朝逝去せられた。享年五十四歲

◎吉江喬松氏死去 フランス文學の耆宿早稻田大學文學部長文學博士吉江喬松氏は、三月二十六日死去。享年六十二

◎藤澤幾之輔氏死去 樞密顧問官藤澤幾之輔氏は、三

日午後十時三十分死去せられた。享年八十二

◎鈴木梅四郎氏死去 本會評議員鈴木梅四郎氏は、永

らく病氣療養中、十五日午前九時死去せられた。享年七十九

◎近刊圖書雜誌

◎昭和十三年度直轄工事年報

例年の通治水事業、港灣改良事業、復舊補修及應急事業、

國道改良事業、本年度施行工事、竣功工事に涉り數字的に掲載して居るが、國道改良事業としては國道一號線七箇所、二號線四ヶ所、三號線三ヶ所、四號線十一ヶ所、五號線四ヶ所、六號線四ヶ所、七號線一ヶ所、八號線二ヶ所、十號線七ヶ所、十一號線二ヶ所、十二號線三ヶ所、十三號線三ヶ所、十五號線五ヶ所、十六號線一ヶ所、十八號線一ヶ所、二十二號線二ヶ所、二十四號線二ヶ所、二十五號線二ヶ所、三十二號線、三十三號線各一ヶ所、三十六號線二ヶ所の工事が掲げられて居る。

○土木建築工事畫報 (四月號)

(國定教科書に編入される廣井勇博士の事績)

○電氣通信學會雜誌 (第二〇三號、二〇四號)

○警察協會雜誌 (四月號)

○新民 (第四一四號)

○技術評論 (第一七卷第四號)

○水利と土木 (第一三卷四號)

○石油時報 (三月號)

○都市問題 (四月號)

○道路 (四月號)

(和田重辰氏 鐵道と道路との交叉の處理に就て)

○法律時報 (第一二卷四號)

○紀元二千六百年 (四月號)

○地方行政 (第四卷一號、滿文版、日文版)

○國立公園 (三、四月號)

○建設 (第五卷一號)

○鐵道軌道經營資料 (三月號)

○竣工 (第一六卷二號)

○土木工業 (第一卷三號)

(荻野福實氏 橋梁架設法)

○土木試驗所報告 (第五一號)

(一木保夫氏 鐵筋コンクリートロッカーの形狀並に配筋に關する實驗的研究)